



酒蔵秘蔵

特別限定大吟醸

私はこの酒を、商品ではなく作品にしたかった。

真名鶴酒造 五代目蔵元 泉恵介



真名鶴酒造合資会社  
 福井県大野市明倫町十一番三号  
 TEL (0779)66-2909 FAX (0779)66-2690  
 E-mail info@manaturu.com  
 URL http://manaturu.com

※売り上げの一部は、東日本大震災の義捐金として寄付させて頂きます。

プロデューサー：佐藤丙午  
 一九六九年東京生まれ。有限会社ライフ・アート代表取締役が漆器作りを行っていたことから、幼少の頃より手作りの本物に魅かれて育つ。二十一歳の時、日本大学在学中にアメリカへ留学。その際欧州へも渡り、欧米各国の文化を肌で感じる。大学卒業後の一九九〇年、マツダ株式会社に入社。入社後、きっかけとなったユニノス・ロードスターの販売を通じて、世界に通用する日本のプロダクトの可能性を感じた。その後、一九九三年漆器をはじめ日本の伝統的工芸品の販売を行う有限会社ライフ・アートに入社。それまでの国内の工芸品販売のみならず、自らの五感で感動したものをお客様に伝えたいとの思いから、世界の工芸品の販売も積極的に行う。二〇〇六年十一月、同社の代表取締役。入社時から感じていた漆の可能性を基盤に、日本の伝統工芸の素材や技術を生かした世界で通用する新しい価値観の創造を目指し、二〇〇七年十一月、自らの名を冠したブランド H.E.I.G.O. (ハイゴ) を立ち上げる。日本の伝統色で、一〇〇色の漆の開発から二〇〇八年二月、二十四色のカラフルなカラーパリエーションを持つ漆塗りナイロンチップ ジャパンパイル、シルバージュエリー テレグラムを発売。二〇〇九年七月、オーストリアリーデル社のワイングラスをベースに漆を塗り上げたテレグラム ワイングラス、漆に彫刻を施したジャパンパイル アートチップを発売。二〇一〇年九月フランスパリにて行われた展示会リーヴ・ド・ラ・ボーテにて H.E.I.G.O. 製品を発売。テレグラム ワイングラスは、二〇一一年福岡産業デザイン賞特別部門賞受賞。日常的に楽しめる H.E.I.G.O. 流「本物作り」は更なる進化を続ける。

蒔絵作家：田崎昭一郎  
 昭和六年生まれ。一后一兆氏 漆芸家 磯間隆佐緒氏、小田原俊雄氏に師事。昭和二十四年の日本現代工芸展に初入選。日展入選五回。昭和四十二年には現代美術展で奨励賞。北國賞、昭和五十二年の第二十五回日本伝統工芸展では「福徳蒔絵漆器」が東京都教育委員会賞を受賞。平成七年、第四十二回日本伝統工芸展で「蒔絵箱巻明」が NHK 会長賞を受賞。第九回日本伝統工芸展では日本工芸会賞受賞。そのほか日本漆工協会会長賞、文部科学大臣賞などを受賞。  
 平成八年 漆芸家賞受賞。平成十四年、輪島市学術文化功労賞受賞。平成二十年、北國風賞受賞。石川県立輪島漆芸技術研究所顧問として二十五年間勤務。現在は、重要無形文化財輪島塗技術保存会会長。

蔵元：杜氏：泉恵介  
 一九六三年生まれ。東京農業大学、国税庁醸造試験場で醸造学、醸造学、微生物学を学ぶ。平成九年真名鶴酒造合資会社代表、平成十年秋より杜氏を兼務。伝統に安住するのではなく、日本酒の世界に革新を持ち込むことを旨とし、常に新たな挑戦を繰り返している。昭和六十二年、真名鶴酒造入社後すぐに全製品を吟醸規格とするなど徹底した高品質化を図り、平成三年には、歴弥となった鶴山の地下軌道内を利用した長期熟成酒造りをはじめ、平成五年には、シェリー酒の古樽を使つて熟成させた大吟醸を商品化。熟成用の白麴を使い、柑橘系の酸味をきかせた純米吟醸酒など、柔軟な発想で、和食だけでなく西洋料理やエスニック料理にも合う新しいタイプの日本酒を開発。また、トルマリンの小石を使った吟醸酒など、従来の概念にとらわれない遊び心のある商品作りなども行っている。さらに、服飾デザイナーやイラストレーター、ミュージシャン、パフォーマーなどと連携し、現代アートやパレル、音楽とのコラボレーションによる新しい日本酒の楽しみ方を構築している。今後は、漆、陶器、和紙などの伝統工芸品や、食材とのマッチングによる海外展開なども視野に入れていくことも見据えている。金沢漆器母屋を使用した、船型で上品な味わいの吟醸酒を得意とし、理想とするのは「種やかな香りと素直な味わいのごこまで、も真直ぐで飲み飽きしない酒」。平成十三年には「福井県蔵元杜氏の会」を結成し、酒造技術の研究、後進の指導に努めている。金沢国税局酒類鑑別会、全国新酒鑑別会、全米日本酒飲評会などで賞多致。

※表面